

質 疑 要 旨

小松 実議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 公費解体の加速化と住まいの確保について</p> <p>(1) 公費解体の申請に係る手続きについて</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 国の通知を受け、登記官の職権による滅失登記が公費解体の迅速化につながることにについて、被災市町への周知徹底が必要と考えるがどうか。</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 国の動きを評価する一方で、半壊でも所有者全員の同意なく公費解体ができるようにしてほしいとの声もあるがどうか。</p> <p>(2) 所有者不明建物管理制度について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア この制度で公費解体の対象となる被災地の特定空家はどの程度あるのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 制度を活用するには、被災した空き家の特定や所有者の調査を行う多くのマンパワーを要するが、県としてどのように対応しているのか。</p> <p>(3) 自宅が半壊に満たない被害を受け、自力で修繕することが困難な高齢者や障害者が、仮設住宅や災害公営住宅に入居できるよう柔軟に検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 被災者の住まいの確保のため、住宅セーフティネット制度を利用しながら、耐震性に問題がない空き家の修繕を支援し有効活用すべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 生活環境部長 土 木 部 長</p>
<p>2 避難所におけるトイレについて</p> <p>(1) 今回の地震の教訓を踏まえ、市町の備蓄を補完するため、最大の避難者数の想定に基づき携帯トイレの備蓄量を見直すとともに、その利用マニュアルの準備を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 道の駅の防災機能強化に向け、診療所やシャワー室等としても使える高付加価値コンテナの導入を検討してはどうか。</p>	<p>知 事 危機管理監 土 木 部 長</p>
<p>3 今回の地震を踏まえた災害対応について</p> <p style="padding-left: 20px;">本県には能登以外にも活断層が存在しており、能登・金沢・加賀の各地域における災害時の救助等のため、複数の活動対応拠点を確保しておくことが重要と考えるが、現状を聞く。</p>	<p>知 事 危機管理監</p>

この質疑要旨は6月4日午後6時5分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

小松 実議員 No.2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>4 被災者支援について</p> <p>(1) 災害関連死や孤独死を防ぐためにも、災害ケースマネジメントの考え方を取り入れ、市町や関係機関とも連携し、高齢者や障害者などの被災者を見守るきめ細かく丁寧な支援策を講じる必要があると考えるが、どのように対応していくのか。</p> <p>(2) 平時から災害ケースマネジメントによる被災者支援策に取り組むべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 危機管理監 健康福祉部長</p>
<p>5 観光需要の早期回復について</p> <p>今後、能登地域において実施する旅行需要喚起策の開始の見通しが立たない中、被災地の観光関連事業を支援する「能登応援クーポン」の導入を検討すべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 文化観光スポーツ部長</p>
<p>6 上下水道施設の耐震化について</p> <p>(1) 能登の被災6市町における水道管の耐震適合率を聞く。</p> <p>(2) 能登地域の水道施設の耐震化に対する財政支援を検討すべきと考えるがどうか。今回の地震を踏まえた能登地域の持続可能な水道インフラに対する見解と併せて聞く。</p> <p>(3) 災害発生時も継続して給水できるよう、浄水場や下水処理場のほか、防災拠点や病院、避難所等につながる水道管の耐震化を優先的に進めるべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 総 務 部 長 生活環境部長</p>
<p>7 文化財や文化施設の復旧について</p> <p>(1) 文化財の被災状況をどのように受け止めているか。今後の復旧に向けた県の対応と併せて聞く。</p> <p>(2) 文化施設の復旧に向けた支援を検討すべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 文化観光スポーツ部長 教 育 長</p>
<p>8 復興基金創設について</p> <p>本県への復興基金の交付について、率直にどのように受け止め、また、基金の用途として、どのような支援メニューを考えているのか。</p>	<p>知 事 総 務 部 長</p>

この質疑要旨は6月4日午後6時5分に取りまとめたものです。